

あがまち

議会だより

ありがとう、私の学校



(三宝分小)



(七名小)

主な内容

平成22年度予算決まる	2～3P
3月補正	4～5P
委員会報告	6～7P
条例制定ほか発議等	8～9P
一般質問	10～21P
揚川道路(一般国道49号)	22P
町民ひろば	23P
閉校感想文	24P

※再生紙を使用しています。

No.20
2010.5

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
発行責任者：議長 遠藤信也

130余年の歴史に幕！ 三宝分、七名両小学校が上条小学校に統合なる



さようなら
七名小学校
石川 かな 奏さん

七名小学校は、少人数ですが、様々な活動に取り組んできました。地域のみなさんが本当に楽しみにしていた七名地区大運動会。少人数でもよい成績を残した陸上大会。23年間続いた浜浦小学校との交流学习。冷たかったけどかじかとりを楽しんだ柴倉川での川遊び。心で楽器を奏でた町音楽会。七福荘で練習し、本番に備えた七名そば屋。雪を楽しんだ三川スキー教室。思い出はつ



忘れません七名小学校

きません。そしてこの思い出の景色には、いつも地域のみなさん、家族の笑顔、七名の自然がありました。七名小学校がなくなることは本当に悲しいです。でも、いつまでも後ろを向いているわけにはいきません。だから私たちは一歩踏み出します。大好きな七名小学校ありがとう、そしてさようなら。わたしは七名小学校のことを絶対に忘れません。

広報対策特別委員会
委員長 星 公 司
副委員長 渡 部 英 夫
委員 猪 俣 誠 一
委員 佐 久 間 勇 夫
委員 入 倉 政 盛
委員 小 池 隆 晴

今年から、今まで気象予報庁からだされていた桜前線の予報がなくなった。新聞やテレビは賑やかな、人・桜などの満開の様子を伝えていたが、桜の満開の咲き具合が判らないうから、今まで桜前線が伝えてきた、やってきたというワクワク感が無くなった。今、どの変にいろのか桜前線、我が故郷にはいつごろ顔を見せるのか気になるところがある。そしてこの議会だよりが発行されて皆さんの所に届くころには桜前線も津軽海峡を渡り、遠い北の国に届いているのだろうか？そして南から北へ遠い桜の旅路も終わりを告げる。

(小池)

たくさんの
思い出を胸に
清野 良介さん



ぼくは、三宝分小学校での6年間で、たくさんの思い出ができました。特に閉校となる今年はいろいろな思い出ができました。毎年行っている運動会や文化祭、今年はさらに4泊5日の佐渡への修学旅行もありました。今でも、その時の楽しかった様子が目に浮かび、またみんなで遊んでいたと思っっています。まだまだ他にもたくさんありますが、その一つ一つの出来事が心に残る思い出となりました。

三宝分小学校が閉校になってしまふのは残念ですが、6年間過ごしたこの学校で、卒業式を迎えられることがすぐくうれしいです。卒業した後この学校が閉校してしまつても、たくさんの思い出を胸にしまい、この学校で学んだことを忘れずに、中学校で活かしていきたいと思っています。ぼくたちの学校、三宝分小学校、たくさんの思い出をありがとうございました。



思い出ありがとう…三宝分小学校

編集室より

平成22年度 一般・特別会計 当初予算可決 122億 20,000千円で…

前年度比 13.3%減

予算審査 特別委員会報告

委員長 斎藤 秀雄

平成22年度第1回定例会は3月10日に召集され、23日までの、14日間の会期で開催された。今定例会に提出された議案44件、議員発議3件、請願2件は原案のとおり可決、承認された。
一般会計予算、特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託され、本会議において原案のとおり可決された。

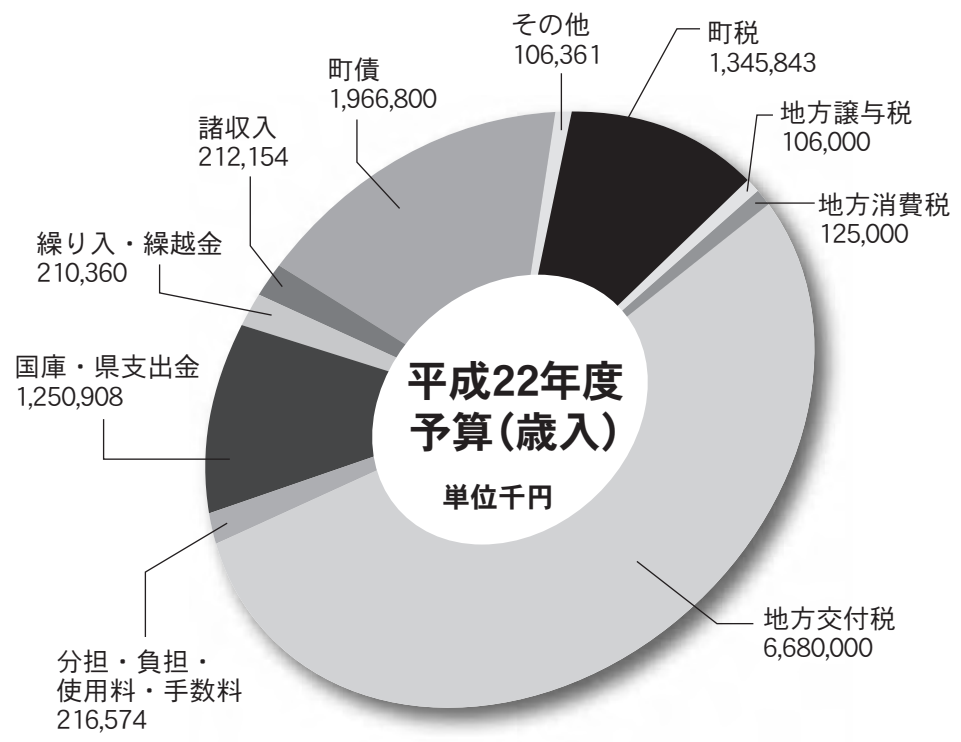
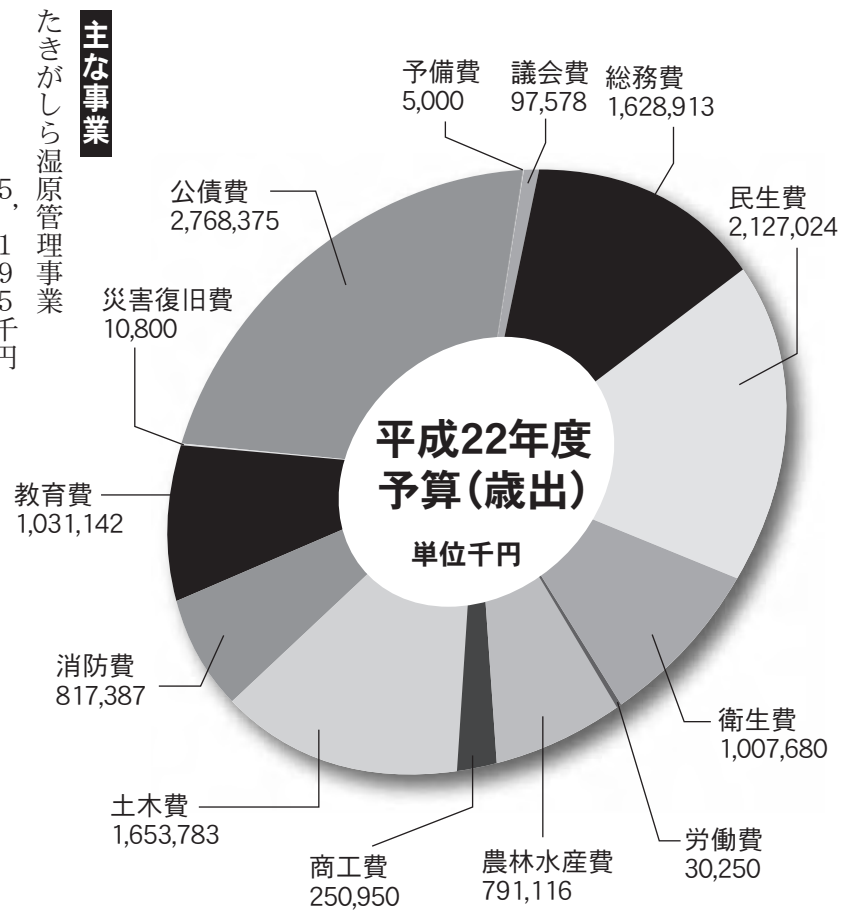
本会議において町長は付帯 慎重審議し理解を得ることを意見を尊重し調査検討を行い 確約した。

平成22年度阿賀町一般会計予算及び特別会計予算は、3月15日から18日までの4日間予算審査特別委員会を開催し慎重に審査を行い、可決するものとした。

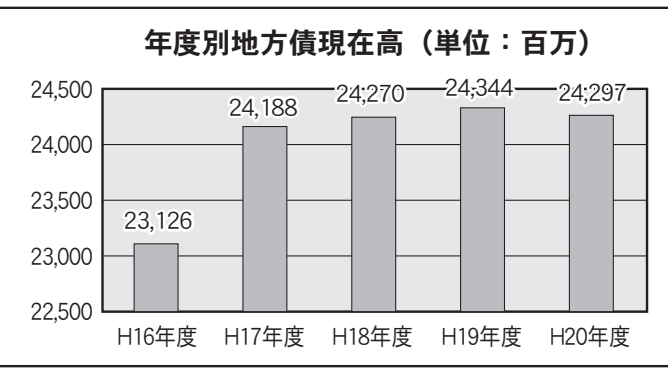
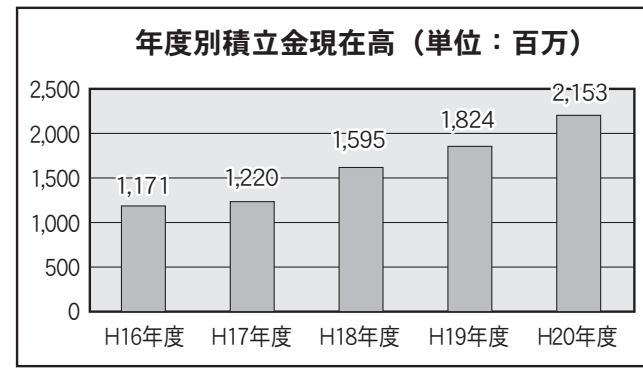
消防本部移転事業に関する「常備消防施設事業」予算については多くの意見があり慎重を期することになり付帯意見を付けることとした。

「付帯意見」

「常備消防施設整備事業」については、その必要性を十分認識しているものの、消防が果たす使命の観点から、施設の位置を含め改めて調査・検討をするとともに、議会との十分な協議を行い、理解を得たうえで執行することを求める。



会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較		
一般会計	12,220,000	14,100,000	△1,880,000		
特別会計	国民健康保険特別会計	1,814,834	1,902,306	△87,472	
	後期高齢者医療特別会計	180,630	188,582	△7,952	
	老人保健特別会計	3,582	13,697	△10,115	
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	2,029,119	1,892,437	136,682	
	診療所特別会計	256,516	265,676	△9,160	
	簡易水道事業特別会計	932,671	951,573	△18,902	
	下水道事業特別会計	1,046,420	1,254,886	△208,466	
	町営スキー場特別会計	74,556	77,191	△2,635	
	水道事業会計	収益的収入	129,701		
		収益的支出	151,331		
資本的収入		14,378			
資本的支出		61,023			



- 診療所特別会計 450万3千円
- 簡易水道事業特別会計 2792万8千円
- 下水道事業特別会計 3334万6千円
- スキー場事業特別会計 △452万1千円
- 阿賀町水道事業 事業等完了により、減額となった。
- 町道路線の認定・廃止
- 認定（一路線） 石神沢線85・4m
- 廃止（三路線） 実川端線 橋沢線 当麻実川島線
- 土地改良事業賦課徴収
- 賦課基準による工種別負担率として一括払で事業実施年度末を期限とする。
- 県営中山間地域総合整備事業
- 県単農業農村整備事業
- 辺地総合整備計画事業
- 策定地区（公共施設整備等） 栄山辺地・牧野辺地・黒谷辺地・石戸辺地等



情報ネットワークの引き込み



にぎわった三川温泉スキー場

2月臨時会

2月15日臨時会が召集され5件が上程され、情報ネットワーク関連2件が特別委員会付託され3件が可決された。



改修された芦沢山荘

- 一般会計 1億3713万3千円
- 土木費 除排雪対策 1億3240万円等
- 工事請負契約の変更
- 情報ネットワーク基盤構築工事の請負額の変更 12億9964万1千円（内81641千円追加）
- 情報ネットワーク引込・宅内工事の請負額の変更 2億7467万2千円（△777万7千円）
- 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少（川口町等）

3月補正予算

総額 160億5062万3千円

追加 5億257万5千円

3月補正

国の2次補正による事業補正が提出され可決された

- 補正総額 5億257万5千円
- 議会費 △115万7千円
- 議会運営費
- 総務費 8533万2千円
- ・職員給与費
- ・集落集会施設整備事業
- ・地上デジタル放送対策事業
- 民生費 6576万6千円
- ・国民健康保険特別会計繰出
- ・一般社会福祉費
- ・一般老人福祉費
- ・子ども手当支給費
- 衛生費 3732万円
- ・簡易水道事業繰出金
- ・予防接種事業
- 農林水産業費 2561万9千円
- ・県営農業農村整備事業
- ・森林環境保全整備事業
- ・中ノ沢溪谷森林公園管理
- ・たきがしら湿原管理
- ・芦沢山荘管理
- 商工費 3273万9千円
- ・一般観光施設管理
- ・新三川温泉施設管理



スノーステーション(芹田)

- ・奥阿賀観光施設管理
- ・上川温泉施設管理
- 土木費 2億6628万7千円
- ・道路橋梁維持管理
- ・スノーステーション管理
- ・道路新設改良
- ・町道鹿瀬線鹿瀬橋改修工事
- 他18路線

- ・町営駐車場管
- ・住宅管理
- ・克雪住宅建設推進事業
- 消防費 6362万4千円
- ・消防団運営（非常備）
- ・非常備消防施設整備
- 教育費 △6644万5千円
- ・教員住宅管理費
- ・一般小学校管理
- ・一般中学校管理費
- ・津川体育施設等維持管理



大規模改修(津川小)

- 国民健康保険特別会計 △4652万5千円
- 後期高齢者医療特別会計 △1015万1千円
- 老人保健特別会計 △1122万7千円
- 介護保険特別会計（保険事業勘定） 915万9千円

特別会計補正

- 上川体育施設等維持管理 給食センター管理運営
- 災害復旧費 △650万円

管内調査報告

産業建設

角神展望台

鉄骨の腐食が進み危険であり、撤去を求め新設を視野に入れ角神周辺の観光整備を希望する。

岩谷將軍亭農産物加工施設

將軍亭改修工事と機械の購入は、一括契約には問題があり、別発注すべきであると厳重に注意した。土地の賃貸契約が遅れ工事先送りになっており、早急な対応を促す。

上空野上水道工事

津川10区上空野集落上水道工事完了。長年の区民の要望であり、実現にこぎつける。

レジオネラ菌発生の経過

赤湯温泉、御神楽温泉にレジオネラ菌検出。安全が確認される迄使用中止。レジオネラ症患者の利用した温泉施設の立入り調査を行い、施設の消毒、清掃、レジオネラ菌対策の徹底を図る。レジオネラ患者と施設の因果関係は不明と結論づける。

豪雪による除雪の対応

生活道路の除雪は予想以上の降雪であり、町民からの理解をしたいとのことでした。

委員長 伊藤 武 一



岩谷とうふ加工施設

全議員協議会(議会改革)

議会運営委員長 猪俣 誠 一

地方分権社会への移行により、町民を代表する議事機関として議会の役割が拡大し、より重要と成ったため、議会改革を目的に、議会運営委員会を所管とし、全議員で協議して行く事を決めました。

研修報告

議会活性化に向け、全国町村議長の岡本議事調査部長を講師に研修を行いました。

議会は地域生活者の代表であり、住民の疑問をなくすために、住民への報告会等が必要であり、住民の声を集め、町のルールづくりや議案の立案をも行うことや、議員同士の討議等も必要となる。これら改革の継続性を担保するためには条例化が重要となってきます。

議会活性化の課題

住民への報告会および懇談会 議員同士の自由討議 政策形成に議会の意思 一般質問の活性
(一般質問は6月定例会より、持ち時間制の一問一答式となります)



議会改革研修

委員会報告

12月定例会以後の各常任委員会の所管事務調査の報告です。

総務文教

委員長 石川 太 一



救急法の実技講習

小規模工事契約の随意契約の状況

調査概要

- (1) 随意契約一覧表の提出を求め、契約内容を調査
- (2) 小規模工事契約希望登録制度の利用状況調査

まとめ

- ・随意契約に関しては、総務課で一括管理するのではなく、各課で執行しているが、予定価格と契約金額がほぼ同じ金額になっているものもあり、契約担当課の指導研修を求む。
- ・はじめから下請を狙って入札に参加している業者もいると思われる。入札参加業者の下請禁止等の制度の検討も必要と思われる。
- ・今後物品購入や委託業務についても調査する必要がある。

(AED取扱い実習)

また同日、救急法とAEDの取扱いについて実技講習を行なった。所管の委員会メンバーが救命措置の実技指導を受け、応急措置の重要性を実感し、人命の尊さについてあらためて認識したところ。

新斎場整備と環境施設

平成22年1月29日新斎場建設工事全般を視察し年度内完成を確信した。

- ・新斎場の管理委託契約やメンテナンス契約について公平公正を基本に適正にすることを求めた。後日公募型で実施すると報告を受けた。
- ・クリーンセンターや汚泥再生センターの委託契約も同様に継続審査を行っていくこととした。
- ・ごみの減量化についてはいくつかの施策を実施している点があったので今後も継続されることを望む。

各施設の処理排水が河川へ排水されていることを考慮し、水質検査を実施する様に強く要望した。

- ・ペレットボイラーについては、エネルギー資源利活用面から促進を図る方向性を見つける必要があると思われる。

今後の課題として、透明性のある契約、焼却場の延命対策、温暖化対策等町民ニーズにあった施策の展開を望む。

社会厚生

委員長 斎藤 秀 雄



完成した新斎場



ここにできます地域活動支援センター(旧つばき保育園)

建設工事請負契約の締結

○地域活動総合支援センター本体工事
 総額1億605万円(内地方消費税505万円)
 契約者 東蒲原郡阿賀町津川612-1
 西興産株式会社

○森林管理道行地五十沢線(五十沢工区)開設
 総額5千25万3千円(内消費税239万3千円)
 契約者 東蒲原郡阿賀町白崎304-1
 株式会社水倉組阿賀営業所



改修されたバンガロー(角神)

条例の一部改正

- ・特別職の職員の給与及び旅費に関する条例
- ・職員給与の読替
- ・職員の給与に関する条例
- ・期末手当の減額
- ・ホームヘルプサービス事業の実施に伴う費用徴収条例
- ・指定居宅サービスに要する費用額算定に関する基準
- ・後期高齢者医療に関する条例
- ・保険料徴収の特例(4月からの暫定徴収をやめる)
- ・観光施設設置条例
- ・角神旅行村のバンガロー宿泊料の改正
- ・簡易水道給水条例
- ・三川地区の給水区域の統合
- ・学校林基金条例の廃止
- ・三宝分小学校の統合による廃止

発議

委員会発議
 一般質問の質疑回数制限を無くすため、会議規則を改正する。(可決)

議員発議
 平成22年度中山間地の土地改良事業予算の確保を求める意見書(可決)

請願・発議

米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願(可決)

請願団体 農民運動新潟県連合会
 代表者 今井 健

350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願(可決)

請願団体 カルテのない薬害C型肝炎の全員救済を求める新潟の会
 代表者 久保 紀子

条例の制定

町における犯罪の防止に配慮した安全・安心なまちづくりの基本理念を定め、町の責務並びに町民等の役割を明らかにするとともに、防犯に配慮した環境を整備するための基本的な事項を定め、全ての人々が安全・安心に暮らすことができる地域社会の実現を図ることを目的に、「阿賀町安全・安心なまちづくり防犯推進条例」の制定が提案されました。

付託された総務文教委員会において、条例制定の背景、町の現状、防犯活動支援事業等々の説明をもとに審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決し、本会議において報告を受け、可決制定されました。

条例の構成

- 第1章 総則
 - 目的・定義・基本理念
 - 第2章 町民の責務及び町民等の役割
 - 町民の責務・町民の役割・事業者の役割・行政区等の役割
 - 第3章 安全・安心なまちづくりの推進に関する施策等
 - 自主的な防犯活動の支援と協力
 - 推進体制の整備・広報及び啓発・高齢者等の防犯対策
 - 学校等及び通学路等における防犯対策
 - 道路等、施設及び建物における防犯対策
 - 犯罪被害者等に対する支援
 - 第4章 補則
 - 阿賀町安全・安心なまちづくり推進運動月間
 - 委任
- 前記で構成されていますが高齢者の多い町でもあり、この条例の制定を機に、犯罪のない明るく安心なまちづくりが進められることを望みます。



地域をてらす(防犯灯)

条例の改正

阿賀町斎場条例が改正されました。炉・建物ともに全てが新しい施設となり、円滑な運営が図られることを望みます。

条例構成

- 設置・名称及び位置・使用の許可・使用許可の取り消し
- 使用料(別表)・使用の取消し等の申出・使用料の不還付
- 使用料の減免・賠償の責任・指定管理者による管理
- 指定管理者の業務・委任

斎場使用料

区分	町内に住所を有する者			町外に住所を有する者		
	15歳以上 円	15歳未満 円	その他 円	15歳以上 円	15歳未満 円	その他 円
死 体	10,000	7,000	—	20,000	15,000	—
死 産	—	—	3,000	—	—	5,000
身体の一部	—	—	3,000	—	—	5,000
その他	同時に死産した双体えい児を1棺に納めたときは、1体とする。					



・地場産業として期待できる 雪椿をどう取り扱うのか？ ・ボート会場施設を 今後どう活かしていくのか？

渡部 英夫 議員



阿賀雪椿物語など 地域振興として期待！

質問 2月2日ホテルみかわで本町が発見の地とされる雪椿ブオーラムが開催され、100余名の方々が参加され、地域資源としての食用油や整髪用オイル、炭等の加工品が有望視され、林道を活用しての雪椿花見ルートの開設等壮大な夢のある提言を頂いた。また耕作放棄地へ雪椿の植栽も考えられ、地場産業として成長の可能性が期待できる雪椿を町は今後どう取り組んでいくのか伺います。

町長

昨年からは新潟大学と共同で雪椿から種子の採取、搾油や活用方法を調査・研究を進め、雪椿を重要な再生可能地域資源として、よそでは真似のできない地域性を発揮して特産化による地域振興が図られる可能性が極めて高いものと思っている。国の助成事業である地方の元気再生事業や県等の緑化助成事業を活用し

て苗木育成を図っている。

無気力な幹部職員 には指導と反省を！

質問

フォーラム終了後5時から交流会が開催されたが、町長副町長、企画観光課長、農林商工課長の姿は見えませんでした。将来、町の地場産業にも期待でき、交流人口の増加や観光産業にも繋がる認識に立てば、地元阿賀町の幹部が参加しておられないのはまずいのではないかと。町長、副町長は夜も公務のときもありましよう。ならばせめて担当課長には出席するよう配慮願いたかった。幹部職員の頑張り不足に足りないことに苛立ちさえ感じた。幹部職員のやる気、本気度がなければ地域活性化など望むべくもありません。やる気がなく無気力な幹部職員には反省を促すとともに、指導に十分ご配慮頂きたい。

町長

苦言を頂き大変恐縮していただきます。今後はできる限りそういった面の配慮は欠くことができない。

子育て支援の充実

阿賀町における少子高齢化は極めて厳しい現状です。年々減少する大事な子供の支援のために、何をすべきなのか大きな課題となりました。そこで、合併時に保育園に対するニーズ調査をした結果、「低年齢時保育」0〜2歳児が約30%、「早朝・延長保育」が約36%、「一時保育」が15%「学童保育」が35%と特別保育のニーズが高まっていると報告されました。このように保育サービスに対する要望は多様化してきているが、少子化が進行する現状で地域の理解を得ながら保育園の統廃合を視野に入れ、充実した保育サービスの一元化と適正規模の施設整備を図る必要があると思います。子育て環境整備については、順調に進んでいると思っております。しかしながら、津川地区のみみじ保育園は、以下の現状から移転新設を望む声が多くあります。

① 30年以上経過し老朽化している。

五十嵐 隆 朗 議員

もみじ園の移転・新築について



- ② 遊戯室、教室が狭い。
- ③ 0歳児保育の要望があるが施設が充実していないためできない。
- ④ 医務室がない。
- ⑤ 国道からのアクセスが悪い。

そこで、町長にお伺いします。

町長 女性の社会進出により最も要望が高く、必要とされているサービスの1つでありますから、新しい施設にはこの要望のすべてを満たしたものにすべく考えていきます。

第一候補とした

町長

もみじ保育園を見させていただきました。大変便が悪く園庭も極めて限られている、子育て支援は欠くことができないう重要課題であります。そのようなことから、新年度予算に調査設計委託費を措置しました。できれば、今後の補正用件として建設にも踏み込めればという思いをしています。旧津川町役場跡地を建設予定地候補の第一というように考えていきます。

とこなみ保育園との 統合を進化させたい

町長

旧津川町役場跡地であれば



元気に遊ぶ子供たち

質問 将来の幼児数から広域的に考える必要があり、統廃合の話も聞きますが、どのように考えていますか。

統廃合は

質問

非常に交通の利便性も高く、また要目的にも十分ではないかと思っております。とこなみ保育園の統合につきましてもこの際、ご理解をいただければ話しを進めてまいります。統合に進化させていきたいと思っております。

認定こども園の検討は

再質問

幼稚園と保育所の機能を兼ね備えた「認定こども園」の検討はしましたか。

町長

幼保合わせた「認定こども園」につきましては、今の段階では考えてはおりません。

未登記は解決できますか

再質問

具体的に調査します

町長

問題点については、十分な調査に至っておりませんし、周辺にも必要な用地があるのではないかと、これから具体的に調査していく必要はあるだろうと、思っています。



猪俣 誠一 議員

健康立国の目指すものは！

質問 町健康立国推進協議会の題字と運営に違和を感じたので伺う。

- ① 町は住民福祉や健康な高齢者の育成にもっと力を注ぐべきであると考え、設立の経緯と目的は。
- ② 温泉等施設の永続的活性化と人材育成を目的として、大学の名誉教授や旅行企画の役員等を理事としているが選任の経緯と目的は。セミナーでは多くの提案を受けたが、だから如何すればと言うのが何もなかった。
- ③ 町内で経営を模索され努力している、若手の中核的担い手もおられると思うが、町内各界の理事さんから地元理事を選任した目的は。
- ④ 事務局を株式会社ICSに置いているが、町との意思疎通が十分に図れる体制なのか。また、今は三川支所長が所管しているがなぜか。所管は町観光行政を一元管理する企画観光課が望ましい。
- ⑤ ソフト充実の為の事業と

くりに寄与できますか。今後の展開は。

健康立国は仮称

町長

- ① You&湯のプールの活用方法の検討が始まりであり、目的は温泉を医学的に活用し健康に暮らせる街づくりを主に、誘客につなげてゆくことである。
- ② 歴史・生活・自然等の資源を洗い出し、国外からの誘客も念頭に置き、人材育成をも図る為、各分野で活躍され実績のある方を選んだ。セミナーはお披露目であり、考え方

を披露した。

- ③ あらゆる観点から、観光協会長・NPO奥阿賀理事長・山菜加工代表・鹿瀬商工会長等をお願いした。若手の参加も含め、実働組織の構築はこれからの課題である。
- ④ 事業の設立経緯から三川支所に担当させたが、今後、具体化していくなかで、事業に相応しい部署に担当させる。
- ⑤ 観光客だけでなく町民の病気予防や健康増進に繋がることを期待している。

3セクの依存体質を正せ

質問

町は指定管理等で3セク保護に努めているが、施設は十分充実しており、行政依存の体質からの脱却に向け指導すべきである。民間は設備投資をしても頑張っている。

民営化も？

町長

3セクは、資産投下も設備投下もなかった。営業努力で対応しなければならぬ。浸透しなければ、実際に民営化を図る努力をしていく必要がある。

阿賀町健康立国推進協議会役員名簿

(理事はあいうえお順)

会長	健康評論家・北海道大学(予防医学)	岩崎輝雄
副会長	阿賀町町長	神田敏郎
理事	北海道大学名誉教授	阿岸祐幸
理事	NPOにいがた奥阿賀ネットワーク理事長	斎藤吉平
理事	阿賀町観光協会会長	佐伯光俊
理事	(有)上川山菜加工代表	清野八十八
理事	特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会事務局長	杉山悦朗
理事	阿賀町鹿瀬商工会長	田部一男
理事	愛知県トリアスロン協会副理事長	豊島耕
理事	社団法人 日本観光協会常務理事	長嶋秀孝
理事	日本コンベンション事業協会会長	白田真一
理事	阿賀町副町長	長谷川修一
理事	財団法人 国際観光サービスセンター専務理事	原祥隆
理事	社団法人 日本ツーリズム産業団体連合会会長	船山龍二
事務局長	立教大学名誉教授	前田勇
	阿賀町三川支所長	斉藤秀勝
	株式会社ICSコンベンションデザイン営業部長	福島富夫



宮川 弘 議員

町政を質す

林業の振興について

質問

我が町の94%は森林です。しかも、資産価値がないので100%公的資産で整備する必要があります。どのような制度がありますか、制度があっても、計画立案し、申請書を作成する人材が必要です。町のCO2削減量の取引き即ちカーボンオフセットは、どのように進行していますか。次に、バイオマスタウン構想は、いつごろ発表されますか。

林業全般のコーディネーターを育成

町長

国庫補助並びに県単補助事業があり、植栽、雪おこし、下刈り、間伐作業が対象です。町も造林・間伐運搬に対して補助を行っております。森林施業計画、補助金の申請は、「郡森」でも行っています。



間伐の作業中

ます。

町も、新潟県ふるさと雇用再生特別基金を活用した地域林業活性化推進コーディネーター事業によって一名雇用し、森林事業のアドバイスや山元から大工、工務店等との連携の活性化と優良資材の安定供給を図るため、積極的に林業振興を行ってまいります。カーボンオフセットについては、今後制度の内容等について調査研究をしてまいります。

津川小学校ベレットボイラー導入により、重油ボイラー

3セクの依存体質を正せ

質問

町は指定管理等で3セク保護に努めているが、施設は十分充実しており、行政依存の体質からの脱却に向け指導すべきである。民間は設備投資をしても頑張っている。

民営化も？

町長

3セクは、資産投下も設備投下もなかった。営業努力で対応しなければならぬ。浸透しなければ、実際に民営化を図る努力をしていく必要がある。

との比較で削減される分、丸紅株式会社、買い取る件については、国が定める審査機関で審査中です。バイオマスタウン構想については、審議が2月末で終了し、3月1日に北陸農政局へ申請しました。3月31日に承認されれば、町民に概要をお知らせし、協力を得ながら推進してまいります。

町長

実態調査については、県労働局、県の労働基準監督署に意見を伺っています。総合評価については、ペナルティ的な発想でなく、逆にそのような対策を講じている業者を優遇していく方が町全体の労働条件等の改善に有効であると考えます。

公契約の問題点

質問

公共工事の減少に加え、過度の競争により、国や自治体が発注する事業に従事する労働者が、適正な賃金、労働条件が確保されているかどうか懸念されます。公契約にかかわる会社等に従事する労働者が低賃金等のため、健康で文化的な最低限度の生活を享受できなければ、公契約の社会的価値はありません。これらの契約は、民間の契約とはいえその改善に尽さなければ、少なくとも若者の定着する町にはなり得ません。

再出馬を問う

質問

神田町長の豊富な知識と経験による強力なリーダーシップを期待して、続投を求め多くの町民の声があります。町長の所見を伺います。

町長

町民の皆様のご支援をいただけるならば、これまでの経験を生かし、新たな視点に立ち、次期においても町政運営を担わせていただきたいと思います。



伊藤 武一 議員

利用料金の統一について

水道料金の統一はいつになるのか？

質問 合併協議の場で水道料金の統一は5年を目途に実施するとありましたが、6年目を迎える中で、水道料金が、旧町村の料金体系であり、一日も早い統一を図るべきと思いますが町長の考えを問う。

町長 合併時5年をめどに統一する合併協議案でありましたけれども、上水道会計につきましては、料金収入の独立採算制で運営されており、簡易水道会計につきましては、44施設で施設規模等の条件が異なり、一度に統一を行うことは、非常に難しい現状であります。

再質問 経済不況下の中、町民の皆様方のご理解を賜るには、施設規模等の条件整備も踏まえ今後も段階的に料金の統一に向けて検討していく。

新年度におきましても、津川、八木山簡水、中央南部、栗瀬、白崎、谷花、下条、石

戸等の施設整備を行います。この現状等を踏まえ、町民皆様のご理解をいただく中で取り組んで参ります。



簡易水道(白崎)

質問

44の簡水が全部できあがった時点で統一を図るのでは、相当な年月がかかるのではないかと、整備されている所から順次取り組むべきである。

町長 基本料金水量、重量料金はすぐ改正、統一できるのではないかと、基本料金となる水量t数も統一は可能と思える。

再質問 放水管の太さによる料金の統一は難しい問題でなく町民の理解はえられると思う。重量料金、基本水量は、早急に統一を図るべきで、まずできる所からやるべきであり一度にとということではありません。

町長

算定根拠、幾つか分れた方式、管の口径、基本重量の統一には、取り組む必要はあるかと思えます。ただ料金をどこに合わせていくかが問題でありまして、簡単ではないだろうと、思っておりますが計算をしながら、統一基準の取り組みの必要性はあると思えます。是非そういったことの可能性というものを勉強させて頂きたいと思っております。

質問

町長 津川、上川地域での貸付料金の違い、統一はできないのか、旧町村時代に林野条例で定めてあります。

再質問 条例で定めてあるので手を付けることはできないと、思われがちですが、地上権、使用权をとにかくいうのではなく、貸付料の統一はできると思える。

町長 貸付料の格差についてです



旧慣使用地(鹿瀬)

が、上川地区には、林野統一以前の旧緑故部落の使用権を認められたものが多く区に残っている。高度利用の目的をもって造林採草地、燃料等、生活に必要とし、利活用し、その使用については永久に権利を認められたものであります。津川地区には、昭和の合併時、小川村、揚川村との間で記名共有による99カ年の地上権設定契約が交わされている。地上権設定契約には利用料金についても明記されており現在も契約に基づき使用料の徴収を行っております。



齋藤 秀雄 議員

入札制度と「阿賀の里」子育て支援・医療制度

入札制度と指名停止

質問 入札は公平公正が基本ですが、今は地域経済を考慮した入札制度運用を図るべきだと思います。制度運用の解説は適切に指導することが必要です。そして建設業法違反の指名停止については効果ある毅然たる処置をすべきではありませんか、お考えを伺います。

地域業者育成を図る

町長 地域業者に焦点を当て段階的に手続を踏み育成を進め緊急経済対策に即応した時限処置を講じていく。提案の制度運用説明会等は地域業界発展の為開催したい。

優良工事表彰を

再質問 優良工事表彰をし入札参加条件に反映させることは国・

新年度検討する

町長 優良工事規定はあるので新年度検討していく。地域センターは特認行為で発注したので今後は指摘の無いよう基準をつくり、地域業界育成をしていきたい。

「阿賀の里」の経営責任

質問 町長は「阿賀の里」に関してはいつも銀行債務の遅延が報告されます、議会との約束は速やかに対処する条件でした、役員会を開催し検討しているのか、旧役員への責任協議はされたのか、イオンのテナシヨップは閉鎖すべきではないのか、などの確に答へ願います。

民間支援先を取り組む

町長 「阿賀の里」経営は成果をあげて民間支援先を取り組み

全員協議会で調査を

再質問 「阿賀の里」に関しては再三再四伺っておりますが、議会側への確な答弁がないので調査会を設置したい。

協議会を設置

町長 民間支援を含め協議会で対処ご相談願います。

子育て支援策は

質問 保育士の待遇改善を図りながら子育て支援を望みますが臨時保育士に対する処遇をいかがお考えか伺います。

雇用創出を考慮したい

町長 保育士の処遇は保育環境整備と併せ検討していきたい。



入札公告

阿賀町医療は

質問 医師確保をする大事な時期ですが、地域医療を守ることが阿賀町医療の原点ではありませんか、対策等のお考えを伺います。

県立病院と診療所連携で

町長 医師確保はあらゆる手段を尽くす努力をする。訪問看護制度の充実を図り、病診連携で最低限の医療確保をして、サポート医師制度等を検討し医師の招聘に努力する。



小池隆晴 議員

『安全&安心』そして『元気』な阿賀町を…

高齢化社会での除雪

【質問】

今年の冬は暖冬といわれながら大雪に見舞われました。この雪が一部の人たちを除いて大きな悩みとなり、障害となつていきます。急激な高齢化社会には重く押し掛かる雪であります。安全・安心の町づくりの観点から高齢化社会における町道・私道における除雪について伺います。

町が管理する町道及び公共施設の広場等につきましては町が担当し、冬期道路交通の確保を図り、公共福祉の増進産業の振興並びに民生の安定と向上を図るために実施しています。

【町長】

しかし除雪機械の入らない狭隘な町道も無数にあります。現在のところは個々の責任において対応をお願いせざるを得ない現状です。しかし、これからは何らかの方法は考える必要があると考えています。



降りつもる雪

要援護世帯除雪助成制度

【質問】

助成制度について実績を伺います。

【町長】

平成18年度が2世帯3万8000円、19年度が9世帯15万9000円、20年度が9世帯11万4000円、21年度2月末現在で20件50万2000円です。

また、克雪対策として、道路除雪、各世帯、集会所等の雪おろしの状況の課題抽出と対策を検討し、集落ごとの雪対策計画の立案を模索しています。

小型除雪機械について

【質問】

除雪機械を貸与されて、委託除雪されているところと、除雪機械を区に置いて必要の人が必要なときにリースができるところがあると聞くが何か制約があるのか。

【町長】

上川地区は各地区、集落へ無償貸与、三川地区は特に谷沢地区は業者委託、鹿瀬地区は希望集落へ貸与しています。

地域活性化とは…

【質問】

元気な地域とは、いろいろな定義はあるでしょうが、地域を活性化したいと思いをもちた元気な人が大勢いることだと思います。

【町長】

アイデアと実行力のある地域リーダーを育成することが行政の責任でもあると考えます。地域リーダーを育成する養成講座を設ける意思があるかどうかを聞きます。

【町長】

町の活性化には、まずは町



地域再生実践フォーラム

「これからのまちづくりは…」

【質問】

行政主導のまちづくりから町民参加、住民主体のまちづくり、まちづくりの変化が叫ばれています。今後のまちづくりについて伺います。

【町長】

それは理想論だと考える。まず地域の皆さんが呼びかけたら参加してくれることが大事、常にそう考えています。

民が元気で各集落の活気が基礎である。

自らの地域は自ら考え、自ら実践し、それを町が支援するというこの理念が一番である。



入倉政盛 議員

小学校卒業まで、医療費の無料化を

子供の医療費助成制度の拡充と無料化を

【質問】

家庭を取り巻く環境が大変厳しい中、子供を育てる親にとって一番の心配は子供の病気ではないか。お金の心配せずに安心して病院にかかれるよう、子供の医療費の拡充と無料化を強く要望します。

そこで、阿賀町単独の年間助成額、県補助額、親の一部負担額がどのくらいになるのかお聞きします。

【町長】

助成額ですが、子供の医療費につきましては、対象人員1歳から就学未満は553人、通院の受診件数7129件、子供の医療費助成額968万1662円です。

入院は59件医療費助成額180万5155円。1年生から小学校6年生までにつきましては1125人、通院については1万3531件、助成額は1772万8000円です。



節分行事(鹿瀬保育園)

現制度での助成額の一部負担額は、県下の各市町村について同額です。

この一部負担金を町独自で無料化するということについては、国や県など広域的な制度の確立が必要と考えられ、子育て支援の拡大方策として他市町村の動向をふまえながら慎重に検討しなければなりません。

【質問】

3月1日、衆議院予算委員会、穀田議員が「医療費助成は自治体の独自制度なので対象年齢などで格差がある。国の制度化で地方を支援するべきだ」とせまり、鳩山首相は「優先課題として扱いたいテーマだと理解する。」と答弁しています。



団子さし(日野川保育園)

【町長】

いろいろな制約がある中で、現段階においては、他市町村の動向をふまえながら慎重に検討していかなければならないかと思えます。少子化対策の大きな一環だろうと思えますので、これからも検討させていただきます。



入園式(上条保育園)



宮澤 勝見 議員

消防署移転に思う！

【質問】 先般、町長の方から全員協議会の中で、旧鹿瀬中への移転をしたいとの説明がありました。理由の一つに、民有地の同意が得られないこと、それから金がかかることが要因の一つだと聞きました。

地権者への交渉はどのようになっているのか、また新築なら9億円、鹿瀬中への移転なら約3億円との説明がありました。そして今後、町民の高齢化、人口減などにより火災よりも救急業務が多く消防本来の使命が変化等を勘案されての計画なのか伺います。

1分1秒が命運を決するものであります。使命を達成するには、消防本部は誰が言うまでもなく人口が一番多いところに設置することが最優先されなければいけません。消防設置の最高の条件は高速インター、病院、警察、役場の近いところといわれています。となれば津川地域の国道沿線が必然的、条件的に当然と考えます。

旧鹿瀬中は多目的利活用を考える場合大きな財産であります。グラウンドもありキャンプファイヤーも、大きな災害があった場合には一時の避難所にもなる大事な施設であります。

町長の考えを伺います。

【町長】 基本的には宮澤議員さんのおっしゃっていることに異論はございません。私もそう言った使命感、消防本部の使命というのは当然のことだと思っております。

人口の多い中心部でありませんが、今、鹿瀬中学校も中心部の一端であることには変わらないのではないかと、この広がった中においては、そういう認識に立っています。決して安く上げればいいのか対費用効果ばかりを考えているわけではありません。

全員協議会におきましても説明をし、施政方針にも必要性ということを多角的に勘案してお願ひもし、今現状の中では旧鹿瀬中学校が移転先と

して最適ではと考えています。

消防本部としての条件といえますか、すべてを備え得るに足りる面積、建物ということで、いろいろな訓練においても何ら不足することもなく対応することが出来ると考えています。

そして、なんとと言っても、町民の生命・財産を守る大切な消防署の移転ということでありますから、その点は十分念頭に置きながらより町民の期待にこたえ得る物にしていきたいと考えています。

【再質問】

町長から全員協議会での説明で鹿瀬中へ移転したら約2億6,000万円くらい、片や新しく建てたら9億円くらい、この根拠のないものを出されたら誰でもが何で9億を選んだと……合併協議会の建設計画の趣旨を重んじれば、7億円だろうが、9億円だろうが立てるのがまずは皆さんの務めと考えますが。

【町長】

9億円程度とか、用地費とか一応見積もる際にそういう想定をしました。

今回改装計画が整ったものではないが、この場所がベストではないがベターであるだろうとそして、遊休資産の効率的活用を図る上でまた、対費用効果も考えれば、消防署の転用に最適ではないか考えました。

【再々質問】

トキめき国体のように今後何かの大きなイベント受け皿の拠点としてこの辺りの中心地の人が集まる、何かやっただ場合の最寄の場所だと言うことの大事さ、それを考えて頂きたい。

【町長】

やはり、これは十分皆さんと議論をしていかなければならないと、覚悟を決めています。

この原稿については、広報対策特別委員会で作成し、掲載しました。



神田 八郎 議員

当町における地産地消の意義

地域の活性化に向けていかに取り組むべきか

【質問】

先日の〈阿賀町健康立国推進セミナー〉で前田勇立教大名誉教授は当町の活性化案を以下のように列挙していただきました。(1)温泉健康保養地づくり(2)登山を取り入れた地形療法(3)外国人観光客の来る町づくり(4)外国語のパンフレット作成(5)体験、交流、学びの場の3点セットが大切(6)イサベラバードを観光資源に活用(当時の食の再現等)(7)地名を付けたブランド品の限定販売等です。

そこで私も当町の〈地産地消〉として列記しますと(1)吉田松陰の真冬の諏訪峠越え(会津街道の再現)(2)西郷四郎(姿三四郎)関連のブランド品&グッズ(3)日本の将軍杉の再スポット(4)酒蔵見学ツアー(5)山菜祭り(6)麒麟山への再アプローチ(7)映画村等々ですが、〈地域活性化チーム〉といっ



吉田松陰詩碑(諏訪峠)

すでに町内の若い人達を取り組んでいます

【町長】

地域の活性化に向けて温泉関係者の若手の方達が現在取り組んでいます。県の新津農業振興部や町の農林商工で畑や転作田等にワラビ栽培を奨励し販売実績も上がっています。また町内で農産物を販売する直売施設も各地でできています。町内の多くの学識経験者や有識者の方々か阿賀町検定実行委員会を立ち上げて

やはり地域活性化チームをつくるべきでは

【再質問】

吉田松陰という人の人生30年の中で、真冬の諏訪峠越えは彼の人生を象徴する出来事のように思えます。そういった関係者との交流も一考してはどうでしょう。また西郷四郎の資料館が阿賀の館に間借りをしているのはどんなものでしょう。西郷四郎にもっとスポットを当てる必要があります。日本一の将軍杉での平維茂は歌舞伎や能、狂言等で「紅葉狩り」という演目で取り上げられています。京都の

もらい、歴史、文化、観光資源、物、人等の阿賀町ガイドブックを策定してもらい、この夏に第一回の阿賀町検定を予定しております。施設整備事業としては常浪川、城山橋下流左岸階段式護岸整備をし、麒麟山公園の魅力アップを図り、観光客の入り込み増に努め、広域観光看板ネットワークサイン整備事業も進めています。

【町長】

阿賀町検定等で町内の人達にその内容を知って頂き、町先案内人ということでも町外の人をおもてなしの心でもてなしてもらおうと思ひ、取り組んでいきたいと思います。

町内の皆さんが知り、参加することが大切

【町長】

壬生寺での「壬生狂言」。東京銀座の歌舞伎座での毎年12月の「紅葉狩り」は平維茂が題材ですので、これらとの関連でスポットを当てられないものでしょうか。



殿様街道の一里塚(行地)



山口周一 議員

町の産物に付加価値を I P 電話、積極利用の推進を



彼岸でもこの残雪(国道49)

雪の利活用を

質問 雪室で酒、味噌などの冷温醸造、米や野菜を冷温貯蔵する事で、食味が増すことが実証されています。

町も積雪量では近隣市町村に負けてません。やっかひもの雪を利活用し、産物には付加価値を付けた販売できるシステムを確立してみる価値があると思いますが、町長の所見を伺います。

換金に慣れていない

町長 兼業農家が多く、ほとんど

なじめないI P 電話

が自家消費のための作付で、換金しようとする農家が少ないのが現状だと思います。換金する事で農家の生きがい、張り合いにつながると思うので、町の農業振興も視野に入れる必要があると思っています。

地球環境もふまえて

再質問 今年の雪は手間がかかりすぎましたが、この雪を利用する事で地球環境にもやさしく産物の品質も高める雪室、最初からうまくいかないと思いますが、小規模でもいいですの前向きに検討していただきたい。

利雪、克雪対策を前向きに

町長 ここしばらくは雪が少なかったため、今冬の克雪対策については十分取り組まなければと痛切に感じたところで、利雪、克雪を前向きに検討したい。

子機の取付は可能か

再質問 I P 電話のオプションとして、ハンドセットが紹介されてきましたが、家のどこに居ても使える子機機能のオプションがあれば使いやすくなると思いますが、メーカーに交渉し、できるものであれば検討していただきたい。

子機機能についてはメーカーに問う

町長 高度利用が図れるよう引き続きサポート制度を充実しますし、子機関係についてはメーカーに問い合わせ、対応したいと思っています。



告知端末器

通話料減額につなげる

町長 私自身もすぐにI P 電話に対応できていないところもあります。

現在各世帯のサポートを実施していますが、今後も徹底してゆきたいと思っています。本庁、支所の電話交換機を改修し、本庁、支所間の通話料を大幅な減額につなげたい。

警察によるパトロール強化を

質問 閉校後、悪の巣窟にならないよう、また高齢者の多い地域でもあり、住民が安心して生活できるよう、巡回パトロールの強化を改めて津川警察署に要請すべきと思いますが町長の考えを伺います。

津川警察署とは連携を密にする

町長 防犯対策の強化については

無人化による周辺全体の環境が悪化し、指摘のような悪の巣窟という場合も考えられます。その抑止力の一つには警察によるパトロールであり、定期的な見回りや安全点検については、特にまた重点的にお願いをしていかなければならないと思っています。

除雪体制の確立を

質問 三宝分小学校のグラウンドのすぐ側には、上水道施設がありますが、学校の除雪対策を含め、冬期間の除雪対策はどのように考えられているか伺います。

迷惑、心配の かからないようにする

町長 道が開いていなかったというようなことのないよう、他の施設と同様、教育委員会とも連携し、ほかとの関係もありますので、それらと見合せながら対応したいと思っています。



星 公司 議員

閉校となる学校施設の 管理と防犯対策

具体策はまだ 施設管理は 十分配慮する

町長 閉校する三宝分、七名両小学校の活用方法については、具体的にはまだ決っていませんが地域の拠り所として両施設は、これからも活動拠点としての役割は十分に期待されます。校舎施設は災害時の避難場所であり、行政がしっかりとした管理をしていかなければと思っています。



地域の避難場所(三宝分小)

ちょうみんのひろば



私の禁煙
長谷川由里子さん(広瀬)

タバコを吸い始めて20年以上が経ちました。やめたいと思いつつもやめられず、つい上司より町で健康講座喫煙を考える講演会があるの代わりには出席してほしいと言われ出席した事がきっかけとなり、3月12日津川病院の禁煙外来を受診しました。「やめたいな」位の軽い気持ちでしたが順調に進んでいます。吸いたくないと思う気持ちは少しありますが殆ど苦勞せず我慢できます。



禁煙ですよ～

タバコの中から出る煙は有毒物質が口から吸う煙の何倍も含まれていてタバコの匂い

だけでも有害と言う事を知り今まで周囲の方にも迷惑をかけていた事を知りました。今、講演会に出席させて頂いた上司に感謝しています。禁煙を始めて子供と過ごす時間が増えて、子供にもタバコをやめて本当に良かったと言われ、幸せな気持ちになりました。私の人生がバラ色に変わりました。



趣味の野鳥
斎藤嗣雄さん(九島)

先日、今年初めてフクロウの声を聞き春を感じた一瞬でした。最近、阿賀町へ渡って来る野鳥の数、種類が少なくなっているように思います。小学生の頃、父が飼っていた一羽の野鳥に興味を持って以来、50年が過ぎました。秋に木の実を沢山あつめ、冬には餌台にのせると色々な鳥が集まり、餌を食べる姿を見て子供ながら感動したものです。

また、10代の頃にも毎年5個ぐらい巣箱を作り高さ、方向を工夫して木に掛け、鳥が巣を作った時には嬉しく、飛びあがったものです。昨年の春、三川の中の沢森林公園に仲間とウオーキングに行き思った事があります。あの大きな公園に何個が巣箱を掛け、子育てする姿を子供達に見せることが出来たらいいなあと思いました。ちょっとした工夫次第で、町外からもまた行って見たい



巣くったかな・・・

と言われるような公園になると思います。

一体感をつくる 改良揚川道路

(一般国道49号)

一般国道49号(福島県いわき市〜新潟市)は、太平洋と日本海を結ぶ主要幹線道路であり、磐越自動車道を補完するとともに、国道49号沿線市町村と新潟市を結ぶ幹線道路としても重要な役割を果たしています。

このうち、東蒲原郡阿賀町清川から同町谷花地区に至る区間は、急峻な岩盤斜面が阿賀野川に迫っており、この溪谷裾部に沿ってJR磐越西線と国道49号が併走しています。このため、線形が悪く、幅員も狭いことに加え、度重なる土砂災害・岩石崩壊及び雪崩の危険に晒され、通行規制区間(連続雨量150ミリ)に指定されています。これらの問題や危険を回避するための抜本的対策として阿賀野川の対岸にバイパスを整備し、安全で円滑の交通を



揚川改良(揚川道路)平面図



揚川道路俯瞰図

揚川ダム



赤岩トンネル谷花地区側

郷土の橋とトンネル



完成予想図

揚川改良(揚川橋※)

橋長343m ※仮称

このため、通行規制区間(連続雨量150ミリ)の解消・岩石崩壊の危険解消・安全で円滑な交通確保及び落石監視体制(24時間)の解消などの整備効果があります。

●本尊岩・谷花地区の防災対策●

現国道においては、様々な岩石崩壊対策を実施し、監視体制を強化してきました。

対策工 ・落石防止擁壁 ・緩衝工設置 ・岩塊撤去 ・岩の亀裂接着 など	監視体制 ・落石探知センサー ・テレビカメラ ・斜面パトロール点検 など
--	--

このような道路管理にも限界があるため、揚川道路の早期開通が望まれます。



赤岩トンネル

津川側 トンネル延長2032m・幅員11.3m・高